

タンネウシ

4月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

プラスチック封入り標本を作ろう!

無脊椎動物や菌類など、触れると壊れやすい生物を封入し、観察会で使いやすいプラスチック封入標本を作る技術を学びます。▶日時：4月13日(土) 10:00~16:00※午後からの参加も可能です。▶会場：交流記念館2F実習室▶講師：三橋弘宗(兵庫県立人と自然の博物館)▶定員：20名(中学生以上)、要申し込み▶参加費：大人200円(協力会会員無料)▶協賛：(公財)知床財団▶協力：知床博物館協力会

巨大羅臼昆布の標本を作ろう!

厚みの少ない標本を樹脂で固めるシートプラスチックの技術を使い、羅臼昆布を展示可能な標本にします。▶日時：4月14日(日) 9:00~15:00▶会場：交流記念館ねぶた保管庫▶講師：三橋弘宗(兵庫県立人と自然の博物館)▶定員：20名(小学3年生以上)、要申し込み▶参加費：大人200円(協力会会員無料)▶協賛：(公財)知床財団▶協力：知床博物館協力会



道立北方民族博物館移動展「融ける大地——温暖化するシベリア・中央ヤクーチア」

ロシア連邦サハ共和国(ヤクーチア)中央部の自然や人々の生活、地球温暖化の影響を紹介します。▶会期：4月27日(土)~5月26日(日)▶会場：交流記念館ホール▶移動展のみの観覧は無料です。

ミュージアムカフェ「サハ共和国の環境と文化」

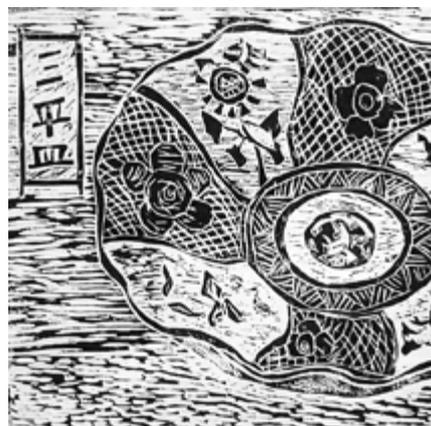
ロシア連邦サハ共和国の自然環境と、そこに暮らす人びとの伝統的な生業や文化について紹介します。▶日時：4月27日(土) 14:00-15:30▶会場：交流記念館2F応接室▶講師：中田篤(北方民族博物館)▶参加費：大人200円(協力会会員無料)、要申し込み▶定員13名



移動展「旧大栄小版画作品展——博物館資料を題材とした」

旧大栄小学校の児童らが何年にもわたって博物館資料などを題材に制作

した版画作品や、竪穴式住居復元にチャレンジした学習記録などを展示します。▶期間：4月24日(水)~5月19日(日)▶会場：ゆめホール知床ロビー▶協力：吉田みつ子(元大栄小学校教諭)



学芸員のイチオシ

JS バッハ：カンタータ全集1 / 鈴木雅明指揮 BCJ 日本の古楽オケが北欧レーベルBISからカンタータ全集? とリリースされた1995年当時は不思議に思ったものです。しかし聴してレベルの高さに衝撃を受け、以来バッハの声楽作品の素晴らしさに目覚めました(内田)

休館日 4月の休館日は、1、8、15、22日の月曜日です。GWの10連休、4月27日から5月6日までは全て開館します。

編集後記 FMアンテナを自宅に立てているので、開局したFMあばしが良好に聴取できます。驚くほどローカルな内容で楽しい!(暁)